盛岡第四高等学校　学校報

シルバーリーフの風

Ｎｏ．８
令和３年 11 月９日発行
岩手県立盛岡第四高等学校
担当　副校長　川﨑　広幸
ホームページにも掲載しています

音楽部　快挙！　　文部科学大臣賞受賞

～第 74 回全日本合唱コンクール～

10 月 30 日（土）大分市で開催された、第 74 回全日本合唱コンクール A グループ(32 名以下)に、音楽部女声チーム 24 名が出場し、全国最高賞である文部科学大臣賞を受賞しました。音楽部は７回連続出場で念願の栄冠を獲得しました。コンクールでは、課題曲「O SACRUM CONVIVIUM」自由曲「こどものための合唱組曲　オデコのこいつ」から「ゆめ」の２曲を歌いました。指揮は佐藤文子指導教諭、ピアニストは中村安里さんでした。生徒の喜びの声です。

＝３年生＝

菅原幸奈さん（部長）　コロナ禍での大会開催を決めてくださった関係者の方々をはじめとする、たくさんの方の支えがあったからこその結果だったと思います。本当に楽しかったです。

伊藤幸奈さん　どの学校も努力が見えるような素晴らしい演奏ばかりでした。そんな大会で日々の練習の成果を発揮することができたのは、とても嬉しく、努力が報われた良い結果の締め括りとなりました。

鬼柳佑衣さん　コロナウィルスの影響で２年ぶりの大会だったこともあり緊張もあったものの、とても楽しく３年間やってきたことを全力で表現することができました。たくさんの方々からの応援があったからこその結果だと思っています。

新井姫生さん　人生で一番の思い出になりました。このような形で引退することができて、本当に良かったです。応援してくださった方々、ありがとうございました。

坂本優月さん　音楽部の部員全員の想いを届ける気持ちで大分県のステージに立つことができました。約３年間の活動も良い形で終えることができて幸せです。支えてくださった方々ありがとうございました。

熊谷萌々子さん　このメンバーで立つ最後のステージであったため、緊張しましたが、全国の舞台に一緒に立つことができなかったメンバーの思いを胸に、楽しんで歌うことができた最高の時間でした。

川村紗希さん　全日本合唱コンクール全国大会に参加させて頂き、とても楽しかったです。観客も入り配信もあり、多くの方に私たちの演奏を聴いて頂くことができて幸せでした。支えてくれた仲間、先生方、保護者の皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。

内藤美空さん　最後のステージを思いっきり楽しむことができて、それに今までの頑張りが良い形として最高にうれしかったです。

小原陽南子さん　私たち３年生にとっては最後の大会で、有観客で歌うことができ、素晴らしい賞を頂けて本当に幸せだなと思います。ここまでこれたのは、学校で沢山応援してくださった先生方、友達の力がとても大きいです。本当にありがとうございました！

菊池果子さん　今のメンバーでの四高サウンドを届けることができ、私達自身も音楽の素晴らしさを改めて感じましたし、沢山の方々の支えで無事終えることができました。

金野胡桃さん　正直このような結果がいただけるとは思っていなかったので、すごく嬉しいです。応援してくださったみなさん、ありがとうございました。

＝２年生＝

櫻井静蘭さん　全国大会というとても大きな舞台で歌うことができて、すごく楽しかったし、毎朝朝早くから放課後までたくさん努力してきたのが、「文部科学大臣賞受賞」という最高の形で表れてとても嬉しかったし、これからの自信に繋がりました。

川崎小雪さん　朝、昼、放課後と練習を積んできて、皆の日々の努力が実り、文部科学大臣賞受賞という素敵な賞を得ることができて嬉しい。支えてくれたすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。

髙橋優香さん　今回、全国大会というステージに立てて、名誉ある賞をいただけて嬉しかったです。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

内澤千晶さん　思えば、本当に色々なことがありました。沢山泣いたりもしました。そんな魂のこもった日々が、今回の結果に繋がったのだと思うと嬉しくて爆発しそうです。支えてくださった方々、ありがとうございました。

佐藤梨花さん　今回は１，２年生のどちらもこのコンクールは初めてだったのでプレッシャーだったのですが、曲に感情移入することができて良かったです。

伊藤璃音さん　今回初めて文部科学大臣賞をいただけて本当に嬉しいです。まだ正直、実感は湧いていませんが、このメンバーでここまで来ることができて良かったです。応援し、支えて下さった方々、ありがとうございました。

浅沼優菜さん　今まで支えて下さったすべての方に感謝しながら歌うことができました。最後に３年生と全国という大きな舞台で歌えてとても幸せでした。

平野穂花さん　厳しい練習の中、何度もくじけそうになったけれど、たくさんの人に支えられ、仲間とともに全国大会出場、そして文部科学大臣賞を受賞することができました。応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

＝１年生＝

松原佑奈さん　みなさんの応援が力となり、厳しい練習を乗り越えて、素晴らしい賞をいただくことができました。応援してくださったみなさん、本当にありがとうございました。

近藤優里さん　コロナ禍でもこのような大会に出場できたことが幸せだと感じます。先生方や保護者の方々などにたくさん支えられていると実感しました。たくさん支えて下さった方々に感謝したいです。

石岡凜さん　憧れの全国大会の舞台に立って、音部のみんなと楽しく歌うことができました。応援してくださった方々に感謝の気持ちを伝えられるように、さらに練習に励んでいきます。本当にありがとうございました。

川村梨来さん　正直、まだこのような素晴らしい賞を頂いたという実感は湧きませんが、音部のみんなと最高に楽しい演奏をすることができました。一生の宝物です。応援してくださったみなさん、本当にありがとうございました

工藤妃奈さん　今まで応援してくださったたくさんの方々や、協力していただいた家族、一緒に練習してきた先輩方、先生方など、数え切れないほどの方への感謝を音に乗せてホールに響かせることができました。本当にありがとうございました。

３年間一緒に努力してきた、音楽部３年男子部員２名のお祝いの言葉です。

小司燎汰さん　おめでとうございます。悔しさも楽しさもあったコンクールでした。女声が良い結果を残し、負けてはいられないと思えたので、受験勉強を頑張りたいと思いました。また、来年は混声も全国に行って共に喜びたいです。

正木秀和さん　僕たちは目標としていた全国大会には行けませんでしたが、県大会東北大会では音楽部での３年間の集大成として精一杯歌いました。女声チームがこのような結果を残してくれて、ともに喜びたいです。